安曇野歴史サロン 11月例会

偽造された歴史

～ 神の手 偽史 ムー大陸 ～

平成12年の「旧石器発掘ねつ造」発覚で、教科書にも載った70万年前まで遡るとされた日本の旧石器時代が偽造されたものとなり、考古学の信用は地に墜ちた。

また、大正の終わり頃に一般に広がった「義経ジンギスカン伝説」も、今では決して史実とは考えられていない。

さて、身近にも研究者が相手にしない偽造された資料から歴史が語られることがある。例えば「束間見取」という絵地図が出回ったことがある。無批判に多くの方が信じてしまい、それをもとに郷土の歴史が語られた。資料の正しさが追求されなかったからだ。

なぜ、偽造された資料から、歴史は語られたのだろうか。

講師 **原明芳氏** (安曇野市郷土博物館 館長)

<プロフィール>

1956年、長野県生まれ。信州大学教育学部卒業。長野県教育委員会文化財・生涯学習課・松本市内の小学校の勤務を経て、長野県立歴史博物館の考古資料課長・総合情報課長等を歴任後、平成30年4月から安曇野市豊科郷土資料館館長。

主な著作：「奈良時代からつづく信濃の村」「松本市史 原始・古代・中世編」(共著)「信濃の鉄鐸」「信州の人と鉄」(信濃毎日新聞社)など

日時 2022年11月26日(土)午後2時～3時30分

会場 明科公民館 講堂

参加費 500円 (資料代として) 会員無料

申込不要 (開場：午後1時半 *入場多数の場合はお断りすることがあります)

* 感染症拡大の状況によっては中止となる場合があります。

* マスク着用にてご参加ください。咳・発熱のある方、体調のすぐれない方はご遠慮ください。

次回予告 12月24日(土)午後2時～ 明科公民館 講堂

甲斐源氏 安曇郡へ! ～武田氏 小笠原氏に挑む～

講師 逸見大悟氏

主催 **安曇誕生の系譜を探る会**

お問い合わせ 事務局 (川崎) ☎090-5779-5058